



議会 だより

No.62 2021年8月5日発行

おもな内容

西海市議会議員の顔ぶれ	…… P2～P3
委員会委員の紹介	…… P4
令和3年度第2回西海市定例会	…… P5
常任委員会審査報告	…… P5～P6
一般質問	…… P7～P13
政務活動費ほか	…… P14
市民の声	…… P15
議会クイズ、編集後記	…… P16



「涼をもとめて」(つがね落としの滝:大瀬戸町)

撮影:廣畝^{ひろ せ} 暁人^{あきと}氏[西彼町]

本誌に写真を掲載しませんか?

表紙に掲載する写真の公募を行っています。詳しくは西海市ウェブサイトをご覧ください。議会事務局までお問合せください。

員の顔ぶれ

これから4年間、住民の代表者として、それぞれが掲げたいします。【任期：令和3年5月1日～令和7年4月30日】

これが私たちの

【表の記載内容】
氏名

①年齢 ②地区
③党派
④会派

重点目標

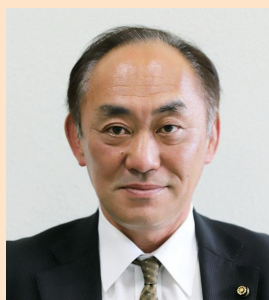
※年齢は令和3年5月1日現在
※議席順に掲載



浅田 直幸

①68 ②崎戸町
③無所属
④創生会

市民の声を迅速に市政へ！住みたいまち。西海市を目指して！



朝長 隆洋

①56 ②西彼町
③無所属
④新・眞濤の会

子どもたちの未来のために頑張ります!!



宮本 一昭

①69 ②西彼町
③無所属
④無所属

市民ファーストで公平公正の西海市実現に全力投球で取り組む！



渡辺 督郎

①64 ②大瀬戸町
③無所属
④新・眞濤の会

市民生活に寄り添った議会活動と夢のあるまちづくりを目指します。



戸浦 善彦

①53 ②西海町
③無所属
④新・眞濤の会

福祉・医療・教育の充実と拡充で次の世代へつながるまちづくり



佐嘉田 敏雄

①71 ②西海町
③無所属
④創生会

これまでの政治経験の集大成として、地域視点に立った政策実行



杉山 誠治

①66 ②大島町
③公明党
④創生会

市民の一人として声を聞き届け、安心・安全な西海市を建設する。



小嶋 俊樹

①67 ②西海町
③無所属
④創生会

持続可能な地域社会の実現 敬天愛人



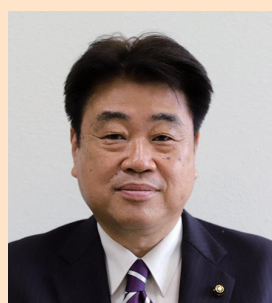
平野 直幸

①73 ②西海町
③無所属
④創生会

「今こそ西海を全国へ」「教育・人・土づくりを」「エネルギー革新の地へ」

西海市議会

本年4月18日に西海市議会議員一般選挙が行われ、18名の議員が当選しました。重点目標を胸に活動を展開していきます。市民の皆様、どうぞよろしくお願い



打田 清

①62 ②西海町
③無所属
④志政会

市民目線と市民感覚で
市民サービス向上！住
み良いまち西海市へ！



田川 正毅

①61 ②大瀬戸町
③無所属
④志政会

政治は情熱だ！



百岳 一彦

①68 ②大島町
③無所属
④創生会

皆様の声を行政に届け、
暮らしやすいまちづくり
を目指し頑張ります。



荒木 吉登

①59 ②西彼町
③無所属
④創生会

住み慣れた地域で暮ら
し続けられる、強固な
西海市を目指します。



永田 良一

①68 ②西彼町
③無所属
④令政会

豊かで活気に満ちたふ
るさとづくりのため！
努力邁進します。



平井 満洋

①55 ②西彼町
③無所属
④耆粒会

皆様の声を大切にし、フ
ットワークは軽く、責任
は重く受け止めます。



片山 智弘

①32 ②西彼町
③無所属
④眞風会

デジタル化を基盤に農
水産業の発展、観光政策
推進に取り組みます。



洲瀬 栄子

①65 ②大瀬戸町
③日本共産党
④西海市議会 日本共産党

これからも、市民の声
とどけ、その実現に一
生懸命がんばります！



西川 勝則

①52 ②西海町
③無所属
④創生会

ワンチームで動く、こ
のまちの未来を担う次
世代へ

重
点
目
標
です!!

委員会委員の紹介

■議会運営委員会

委員名	氏名
委員長	浅田 直幸
副委員長	渡辺 督郎
委員	田川 正毅
委員	永田 良一
委員	淵瀬 栄子
委員	戸浦 善彦

■厚生常任委員会

委員名	氏名
委員長	淵瀬 栄子
副委員長	平井 満洋
委員	杉山 誠治
委員	百岳 一彦
委員	打田 清

■基地対策特別委員会

委員名	氏名
委員長	佐嘉田敏雄
副委員長	平野 直幸
委員	浅田 直幸
委員	戸浦 善彦
委員	渡辺 督郎
委員	小嶋 俊樹
委員	荒木 吉登
委員	西川 勝則

■総務文教常任委員会

委員名	氏名
委員長	田川 正毅
副委員長	西川 勝則
委員	佐嘉田敏雄
委員	浅田 直幸
委員	朝長 隆洋
委員	片山 智弘

■予算決算常任委員会

委員名	氏名
委員長	戸浦 善彦
副委員長	打田 清
委員	佐嘉田敏雄
委員	永田 良一
委員	平野 直幸
委員	浅田 直幸
委員	小嶋 俊樹
委員	田川 正毅
委員	朝長 隆洋
委員	淵瀬 栄子
委員	平井 満洋
委員	杉山 誠治
委員	渡辺 督郎
委員	百岳 一彦
委員	荒木 吉登
委員	西川 勝則
委員	片山 智弘

■議会広報広聴委員会

委員名	氏名
委員長	荒木 吉登
副委員長	片山 智弘
委員	朝長 隆洋
委員	西川 勝則
委員	小嶋 俊樹
委員	百岳 一彦
委員	打田 清

■産業建設常任委員会

委員名	氏名
委員長	永田 良一
副委員長	渡辺 督郎
委員	平野 直幸
委員	小嶋 俊樹
委員	戸浦 善彦
委員	荒木 吉登



令和3年第2回議会定例会

令和3年6月11日～6月23日(13日間)

定例会の概要

第2回定例会では、議案8件(報告4件含む)、発委1件、発議1件が提出されました。(下記参照)

議案のうち、各常任委員会に付託された4議案(条例案・補正予算案)は、各常任委員会において、審査されました。

(5、6ページ参照)

各常任委員会の付託内訳

産業建設常任委員会……………1件
厚生常任委員会……………2件
予算決算常任委員会……………1件

委員会発議により提出された「西海市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について」及び議員発議により提出された「基地対策特別委員会設置に関する決議」は原案のとおり、可決されました。閉会中の継続調査は、総務文教常任委員会から「ICT教育推進のための環境整備の状況及びGIGAスクール構想推進事業に係る各種計画の詳細について」、「離島部の小中学校における遠隔授業の状況について」、産業建設常任委員会から「西海市新水道ビジョンにおける〈現状の課題〉に対する取組み状況について」、厚生常任委員会から「西海市内の一般廃棄物処理施設の現状と管理の在り方及び今後の施設整備について」、「西海市内唯一、一般病床のある医療機関へさいかいクリニック」との協議状況と西海市医療プランについて」の申出があり、決定されました。

令和3年第2回議会定例会で審議した案件及び結果

議案等番号	件名	付託委員会等	議決の結果
報告第22号	令和2年度西海市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	本会議	報告済み
報告第23号	令和2年度西海市工業団地整備事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について	本会議	報告済み
報告第24号	令和元年度決算に係る財務書類4表の報告について	本会議	報告済み
報告第25号	西海市新コミュニティ交通の運行に関する条例の一部を改正する条例の制定に係る専決処分の承認について	本会議	承認
議案第27号	西海市税条例の一部を改正する条例の制定について	厚生	原案可決
議案第28号	西海市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	厚生	原案可決
議案第29号	令和3年度西海市一般会計補正予算(第2号)	予算決算	原案可決
議案第30号	令和3年度西海市水道事業会計補正予算(第1号)	産業建設	原案可決
発委第1号	西海市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	本会議	原案可決
発議第1号	基地対策特別委員会設置に関する決議	本会議	原案可決

The SAIKAI Municipal Assembly News

常任委員会審査報告

産業建設常任委員会

審査件数

補正予算案1件

主な審査内容

議案第30号 令和3年度西海市水道事業会計補正予算(第1号)

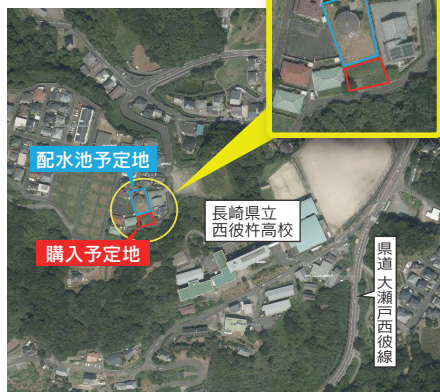
原案可決

資本的収入額では既存の予算に290万円を追加し、その総額を6億304万6千400円に、資本的支出額では既存の予算に304万3000円を追加し、その総額を9億7900万7000円とするものです。

補正の内容は、水道施設整備事業において用地の購入が必要になったことによる固定資産購入費の増額及びこれに伴う企業債の増額です。

大瀬戸緑ヶ丘にある配水池の老朽化による工事の中で、作業ヤードや作業用道路が必要になり、また今後の維持管理に隣接の用地が必要となったことから、用地購入費を増額補正したものです。

(拡大)



整備予定の大瀬戸緑ヶ丘配水池周辺図

厚生常任委員会

審査件数

条例案2件

主な審査内容

議案第27号 西海市税条例の一部を改正する条例の制定について
原案可決

本議案は地方税法等の一部を改正する法律等が令和3年3月31日に公布されたことにより、西海市税条例の一部改正を行うもので、条例規定の第24条、個人の市民税の非課税の範囲、第36条の3の3、個人の市民税に係る公的年金等受給者の扶養親族申告書及び附則第5条、個人の市民税の所得割の非課税の範囲等については、均等割及所得割の非課税限度額における国外居住親族の取扱いの見直しとなっています。

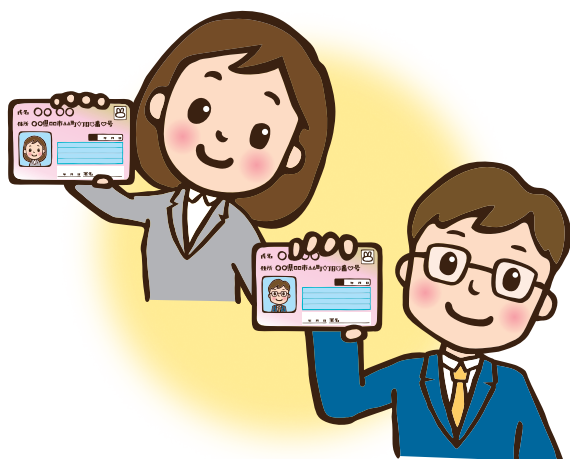
質疑 地方税等の改正が図られた理由は。

答弁 令和2年分の所得控除額の改正があった。給与所得者においては、給与所得控除額が10万円減ったことにより、所得が増え税額が増加する事になる。しかし、その分を本人の基礎控除が10万円上がったことで調整がされる。これは、公的年金所得者においても同様である。結果、税額には影響しないことになる。

議案第28号 西海市手数料条例の一部を改正する条例の制定について
原案可決

原案可決

西海市手数料条例の一部を改正する条例の制定について、個人番号カード再交付手数料1枚8000円の項目があったが、行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正により、地方公共団体情報システム機構がマイナンバーカードの発行するものとして明確化されることになり、加えて、発行に係る手数料の徴収事務についても、同機構から市区町村長に委託することが規定に盛り込まれおり、法の施行期日である令和3年9月1日以降は、手数料の規定が不要となることから、改正するもの。



予算決算常任委員会

審査件数

補正予算案1件

主な審査内容

議案第29号 令和3年度西海市一般会計補正予算（第2号）
原案可決

補正額

6億5307万円

補正前

198億1146万8000円

補正後

204億6453万8000円

◎新型コロナウイルス感染症対策事業

① GIGAスクール構想推進事業（小・中学校分）

事業費 1500万円

（新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金460万円）

② 公立図書館図書除菌機購入事業

【新規】

事業費 460万円

（新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金460万円）

質疑 GIGAスクール構想推進事業でのインターネット環境を整える家庭の初期費用とは

答弁 端末機器を各家庭に持ち帰って学習する際のWi-Fiの端末を整備する際の契約の事務手数料の補助として活用したい。

質疑 貸出図書除菌機の導入予定

箇所数は。

答弁 市内4施設の図書館に導入予定である。

【その他の事業費】

◎交通安全対策費

事業費 100万円

（一般財源100万円）

ドライブレコーダを購入し自家用車に搭載する市民に対して上限1万円まで、2分の1の補助をするもの。

◎100人雇用創出プロジェクト

事業費 2000万円

（一般財源2000万円）

企業立地奨励金において、新たに「住宅整備奨励金」の申請が見込まれるため増額するもの。



タブレット端末機器

一般質問

今定例会で一般質問した議員は12人でした。



一般質問の動画にリンクしたQRコードを掲載しております。
スマートフォンなどで読み取ると当日の動画映像がご覧になります。

一般質問とは？



市議会議員が市に対して、事務の執行状況や今後の政策など、みなさんの生活にも関わる市の行財政全般について、疑問点を質したり、所信の表明を求めたりするものです。

西海市では一人60分（答弁、再質問を含む）の持ち時間制となっています。



一般質問は、「通告制」となっており、議長が定めた期間内に議長に質問の要旨などを文書で通告します。

質問範囲が多岐にわたることから、質問する議員も受ける執行機関も十分な準備期間を設け、充実した政策論議を行うためです。

順番・氏名	質問事項
1. 瀧瀬 栄子 議員	・新型コロナウイルスワクチン接種の体制について ・公共交通政策について ・障害者等の交通費助成について ・老朽危険空き家対策について ・音声コードの普及と専用の読上げ装置の周知について
2. 荒木 吉登 議員	・本市人口ビジョンについて ・高齢社会について ・工業団地について ・中山間地の耕作放棄地の活用について
3. 渡辺 督郎 議員	・茨城県境町方式のこども食堂の取組みについて ・地域資源の活かし方について ・雪浦川河川浚渫工事に係るうしろの浜の砂浜の保全について
4. 平井 満洋 議員	・安全対策について ・長崎オランダ村について ・要望書について ・松島架橋について ・固定資産税について
5. 永田 良一 議員	・西海市内への特別支援学校小学部・中学部の設置に向けた動きについて ・人口減少問題について ・農地中間管理機構集積制度及び西海市樹園地基盤整備事業について
6. 打田 清 議員	・西海市炭化センターについて ・市道の管理・整備について ・西海市消防団について

順番・氏名	質問事項
7. 朝長 隆洋 議員	・人口減少対策に対する今後の取組みについて ・市営体育館、グラウンドなどのスポーツ施設の整備について ・市民が活躍できるまちづくりの推進について
8. 浅田 直幸 議員	・福祉医療費制度について ・小・中学校通学費補助制度について ・停電対策について ・持家管理に不安を抱く高齢者の支援について
9. 百岳 一彦 議員	・閉鎖された公共施設の対応について ・大島町の地域医療について
10. 西川 勝則 議員	・西海市国土強靱化地域計画について ・ICT教育について ・教職員の働き方改革について
11. 杉山 誠治 議員	・「点字ディスプレイ」の給付対象条件の緩和について
12. 戸浦 善彦 議員	・西海市の若い世代を増やす政策について ・これからの西海市の教育行政について ・西海市の文化財保護に係る補助制度の整備について ・市民サービスの向上策について



あらい せ い こ
荒瀬 栄子 議員



公共交通政策について

問 スマイルワゴンのドア・ツードア運行は、高く評価されているが、エリアの乗り継ぎによる利用は低迷している。改善が図られるのか。

市長 来年4月から、スマイルワゴンからタクシーに乗り継ぐことに補助ができないか慎重に検討している。

問 市内バス路線の確保、維持のため、市からのバス路線維持費補助金は必要不可欠であるが、補助金の交付額が近年増加している。市民に路線バスの利用を促す対策は。

市長 令和2年度の補助額は、約5200万円となっている。著しい人口減少の中、効果的な対応策が見当たらないのが現状である。利用者の利便性向上のためのダイヤ改正の協議やバス待合所の整備などを行っている。

問 佐世保市への直行バスを要望する声がある。西九州させば広域都市圏での本市からの佐世保市へのアクセスについての協議は進んでいるのか。

市長 大変難しい状況ではあるが、西海市及び佐世保市の相互乗り入れなどの可能性については粘り強く協議を行う。

問 以上の点を踏まえ、本市の総合的な公共交通政策についての考えは。

市長 地域コミュニティを保ちつつ、生活圏を巡回するさいかいスマイルワゴンの運行の改善や、広域的に長崎市や佐世保市と接続する路線バスの利便性の向上、陸上だけではなく海路も含めた移動ルートの充実など、バス、船、さいかいスマイルワゴン、タクシーを加えた組合せによって、市民の足を何とか確保していかなければならないと考えている。そのためには、まずは交通事業者等の関係者が協議する場を改めて設け、本市の公共交通政策の方策を議論し、できることから一つずつ取り組んでいく。



さいかいスマイルワゴン



あらい よ し たか
荒木 吉登 議員



本市の人口ビジョンについて

問 平成27年に策定された西海市人口ビジョンでは、2060年目標人口3万人を掲げているが、高齢化や若者の市外流出は進行している。そこで、具体的な施策を実行するため、改めて人口の現状分析を行い、実情に応じた目標値に見直す考えはないのか伺う。

市長 人口減少に歯止めをかけるためには、転出超過による社会減をいかに抑制するかが重要であり、これまで、幅広い分野において、西海市の生活満足度の向上に資する事業に取り組んできた。

中でも、市内全域への高速情報通信網の整備や、大島地区工業団地の造成など、大きな効果が期待できる事業の完成が見通せる段階となっており、目標人口の見直しは、それらの事業の成果を確認した上で、検討する必要があると考えている。なお、見直しの検討時期としては、第3次西海市総合計画策定時を見込んでいるところである。

高齢社会について

問 独り暮らしの見守りネットワーク事業及び緊急時の連絡体制と救済策は万全に整っているのか伺う。

市長 高齢者のみに限らず、障害者、乳幼児、児童・生徒、その他見守りが必要な方が、安心して生活できるよう、市、市民、市民団体及び事業者が相互に連携を図り、早期かつ的確に対応を図るためのネットワーク体制を整えている。

工業団地について

問 分譲から6年経過をしているが、売却が進まないのはなぜか伺う。

市長 空港や高速道路からの交通アクセスなど、企業が求める立地条件に合致しないことが大きい。今後は、地元金融機関などへ情報提供をお願いし、県外企業へのアピールのみではなく、県内企業の増設も視野に入れないながら、できる限り誘致活動を展開していく。

パールテクノ西海
(西彼町)





問 茨城県境町では、「アプリ」で「ちめし」を通した第三者からの寄付や、ふるさと応援寄付金を活用し、飲食店が子供へのお弁当を無料で提供する「境町子ども食堂」という取組が行われている。子ども達の成長を地域全体でサポートし、かつ、コロナ禍における市内飲食店への支援にも繋がる子ども食堂を西海市でも取り組む考えはないか。

市長 西海市でも民間の企業・団体により、子ども食堂が既に開設されたり、新たな開設の動きがある。自主的な活動を尊重していきたい。



わたなべ とくろう
渡辺 督郎
議員



茨城県境町方式の子ども食堂の取組について

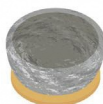
地域資源の生かし方について

問 ホゲット石鍋製作遺跡が国の史跡に指定されて40年になる。そこで、記念シンポジウムを開催する考えはないか、伺う。

教育長 コロナ禍を踏まえ、リモートによるシンポジウム開催を検討している。

問 ホゲット石鍋製作遺跡で崩落が発生したため、遺跡への立入りが禁止されている。崩落の状況と今後の対策について伺う。

教育長 県学芸文化課、専門家と現地調査を行い、ホゲット石鍋製作遺跡の第6工房で全体的に崩落する危険性があることを確認し、今後の対応について、文化庁と協議した。文化庁の指導を受け、対策方法等を検討し、保護に努める。



雪浦川浚渫工事に係るうしろの浜の保全について

問 県の事業による雪浦川河川浚渫工事の及ぼす影響について、砂浜が痩せて消滅するような事態にならないか憂慮している。砂浜保全の対策について県に要望してほしい。

市長 市の大切な自然資源であるうしろの浜の砂浜保全について、県に要望していく。



ひらい みつひろ
平井 満洋
議員



安全対策について

問 市道上岳母衣崎線は、下岳郷、白崎郷及び上岳郷の一部の住民約1,000人以上が利用する主要な生活道路である。

通学する児童や生徒たち、また、園児が野外活動で利用しているほか、近年ではスノーバーや病院へ行くため、シニアカーの通行も増えていることから、歩行者の安全確保のため歩道整備が必要であると思うが、市長の考えを伺う。

市長 市道上岳母衣崎線は、喰場郷から上岳郷を経由して下岳郷や白崎郷へつながる重要な路線となっている。

道路整備については、平成22年度に道路改良後、平成30年度の歩道整備を最後に一定の整備が完了しているところである。

比較的直線区間で見通しもよく、道路幅員も平均5.4メートルあるため、歩行者やシニアカーが通行している状況は車両から把握しやすい環境であることから、歩道整備ではな

く舗装補修等を行い、路肩部の雑草繁茂を抑制する張りコンクリートを施工し、安全な歩行空間の確保を図ることとしている。

問 西彼町小迎深江地区のニュータウンから西彼北小学校までの国道206号線の区間に、歩道整備などの安全対策を早急に要請すべきと思うが、市長の考えを伺う。

市長 長崎県県北振興局、西海警察署、学校関係者等により現地立会いを行い、協議をした区間となる。現在のところ新規歩道整備での対応は困難なことから、一定の方針が出ている状況で、早急な整備を要請することは困難と考えているが、引き続き、通学路の安全確保に向けた協議を行っていくこととしている。



歩道整備を要求された国道206号線（小迎）



ながた りょういち
永田 良一
議員



特別支援学校小学部、中学部の 設置に向けた動きについて

問 令和3年2月9日に県庁を訪れ要望書を提出された。その後の進捗状況はどうなっているか。

市長 9月を目前に、保護者、学校関係者、療育機関等への事前研修会を開催し、12月にアンケートを実施し、就業希望数を確実に把握して今年中に県教育委員会へ報告する予定である。

問 市外の特別支援学校に長時間かけて通学したり、親元を離れて寄宿舎生活をしている児童生徒の数は。

市長 小学部8名、中学部1名である。寄宿舎生活をしている児童生徒は中学部のみ5名で、計14名である。

問 自宅から30分以内で通える場所への設置や、スクールバスの運用などが必要されているが。

市長 スクールバスの運用や福祉タクシーの補助等、他の自治体の通学支援状況を踏まえ、今後も市内の特別支援学校小中学部開設に向けて、通学支援、施設設備にかかる財政支援等、市への受入れ態勢を整えたい。

人口減少について

問 本市における4月末の14歳以下の子供数は2904人で総人口2万6736人に占める割合は10・8%である。一方65歳以上は1万412人で38・9%となっており、深刻な少子高齢化の状態にある。早急に効果的な対策に取り組むべきだ。

市長 要因として未婚率の上昇や生産年齢人口の減少が考えられるため、出会いの場の創出などに取り組んでいるが今後は、県独自のお見合いシステムへの市独自の登録料の補助制度創設などを検討し、出会いから結婚、妊娠、出産、子育て等支援を図り、少子化対策に努める。

西海市農地基盤整備事業について

問 農地中間管理事業の創設により、農業法人や担い手に貸し出すことが可能となったが、本市での実績は。

市長 令和2年度までで2533筆、327haとなっており、そのうち、担い手149名へ213hが配分された。基盤整備事業では農地中間管理事業により担い手への集積を行なっている。

問 小迎、面高、天久保、太田和、下岳地区などの進捗状況及び今後の計画は。

市長 小迎地区は令和4年度までで面的工事が終了予定であり、その他の地区も早期着工を目指し、関係機関と連携し協議を進めていく。



うちだ きよし
打田 清
議員



西海市炭化センターについて

問 西海市炭化センターの令和2年度の1日当たりのごみ処理量を伺う。また、同施設で製造される炭化燃料は、どれくらいの割合で製造され、どのように利用されているのか。

市長 令和2年度のごみの受入総量は6960トンで、1日あたりの処理量は平均23・4トンである。また、同施設で製造された炭化燃料は1328トンで、受入総量の19・2%である。



西海市炭化センター（西海町）

なお、製造された炭化燃料は、同施設の運営事業者である(株)グリーンコール西海が有効活用可能な状態で保管したうえで、一旦、市が引渡しを受け、それを運営事業者が有償にて譲渡している。

問 炭化燃料を有償にて譲渡しているが、いくらで渡しているのか。

環境政策課長 1トンあたり10円で販売している。

市道の管理・管理について

問 市道の日常的な点検等は、どのように行われているのか。また、市道における異常等の連絡は、どのように受け、どのような手順で整備が行われているのか。

市長 建設課職員及び建設課作業員6名による道路パトロールや、市民・行政区長等からの連絡により、その都度、現地の状況を確認し、必要に応じて修繕等を実施し、維持管理を行っている。なお、整備の手順は、建設課職員が現地確認を行い、軽微なものについては、職員及び作業員、地域支援員で迅速な対応を心掛けて行っている。それ以外のものは、修繕工事を建設業者の依頼し、対応している。

問 市道は一次産業を担う道路でもあると思うが。

市長 おっしゃるとおりである。一次産業での搬入搬出を考えると、市道の整備は、しっかりと整えなければならぬものと思う。



市道舞坂線

西海市消防団について

問 市消防団条例第四条によると定員数は1460人であるが、現在の団員数を伺う。

市長 本市消防団団員数は、1157人であり、79・2%の充足率である。



ともなが たかひろ
朝長 隆洋
議員



人口減少対策に対する今後の 取組みについて

問 新たな人口減少対策の具体的な考え方や施策はあるか。

市長 転出超過による、社会減をいかに食い止めるかが大きな課題であり、西海市で暮らすことを選択していただくため、雇用、起業、子育て、教育、医療、福祉などの生活満足度を向上させる取組みこそが大事であると考えている。

問 西彼北部地域では、第2パールタウンが2か月で完売していることから、そのニーズを受け止め、定



パールタウンせいひ分譲地（西彼町）

住しようとする若い世代向けの支援を促進すべきではないか。

市長 大串の第2パールタウンは6月1日に完売した。今後、住宅の供給は民間主導で行われることが望ましいと考えており、金融機関等へも情報をお伝えし、民間による宅地化が促進されるよう取組みを進める。

問 民間で進める場合は、生活インフラや農地法等への対応などあらゆる課題に対して、それぞれの部署が共通認識しながら連携し、市としてできることを早期にまとめる必要があると思うが。

市長 複数の部署が連携して取り組むことになるが、総合的な意味で政策企画課がグリップを握って進めていく。

問 移住希望者に対して新たな取組の予定はあるか。

市長 空き家改修補助制度をこれまでの市外対象から市内在住者も対象とし、予算計上している。

問 市営体育館、グラウンドなどスポーツ施設の状況を再度確認し、必要に応じて整備を進めるべき。

教育長 施設のさらなる長寿命化を図るため、令和2年度に市内の社会体育施設、社会教育施設、文化施設の劣化状況を専門家に調査依頼し、西海市社会教育施設等長寿命化計画を策定した。



あさだ なおき
浅田 直幸
議員



福祉医療制度について

問 こども福祉医療費を市内の医療機関に限定して、現物給付に切り替える考えはないか伺う。

市長 市内の医療機関の利用促進の効果も期待できることから、所属している西彼杵医師会管内における、現物給付制度の導入について、今後検討を進める。

通学費補助制度について

問 現在、学期末ごととなっている通学費補助について、保護者の経済的負担を軽減するため、定期バス代及び船代に限り、月ごとの現物支給に変更できないか、伺う。

教育長 現段階では、現物支給への変更は難しい状況となっているが、今後とも、バス事業者と課題解消のため、継続的に協議していく。

停電対策について

問 昨年、崎戸町で発生した床下浸水や断水の原因は、停電によるポンプ座や浄水場のモーターの機能停止も一因であると思われる停電対策

について市長の考えを伺う。

市長 崎戸町奥浦地区においてはポンプ稼働に必要な発電機を借り上げ。横浦地区では非常用発電機を設置した。浄水場の停電対策としては電源切替盤を今年度整備し、非常の際には、発電機を借り上げて対応する。

持家管理に不安を抱く高齢者の 支援について

問 一定の条件を設定し、市営住宅への優先入居の導入を検討できないか、伺う。

市長 原則として著しく老朽化して危険な住宅に居住していることを前提に、入居までの期間に持家の解体または処分を行うこと、また、それが困難な場合は解体や処分が確約できる書類の提出をお願いするなど本市においても、一定条件を設定し定期公募や臨時公募で対応している。



バス通学する生徒



ひやくたけ かず ひこ
百 岳 一 彦
議員



大島町の地域医療について

問 市立病院を民間移譲したのは、適切であったと考えるか。

市長 市立病院の経営悪化に、歯止めがかからず、市の財政圧迫に伴い民間移譲は、経営効率化及び行政改革の面で多大な効果があつたので、選択はやむを得なかった。しかし、市が直接関与できなくなるという、デメリットも痛切に感じている。

問 今後福医会と、どのように向き合っていくか。

市長 現在、市からの財政支援は行っていない。市が直接関与できない状況である。一般病棟を老人保健施設に変更する等医療サービスの縮小する面もあり、福医会との協議を継続していく。

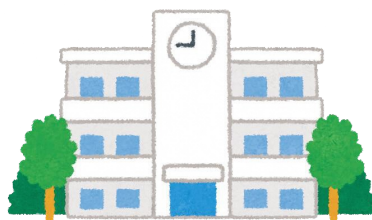
大島町の地域医療の展望は

市長 来年度西海市出身の医師が、大島町で新たに、診療所を開設することとなり、大きく貢献してくれると考えている。

閉鎖された公共施設の対応について

問 市内学校の閉校後の校舎の活用は、どうなっているか。

市長 旧多以良小は農業公社に、旧崎戸中は農産品加工業者に、旧大島中は地域事業者の独身寮に、旧白似田小は農業拠点施設としてそれぞれ活用されている。



問 学校が閉校する地域の活性化策は、どうなっているか。

市長 小学校の校長を始め、PTAや行政区長で構成される地域支援等分科会を設置して、活性化策を検討する。

問 西海町、崎戸町の旧役場や大島とれたて市場、間瀬保育所の活用または解体の予定はどうなっているか。

市長 旧大島間瀬保育所は障がい者通所施設に活用できないか検討している。他は解体予定である。



にしかわ かつのり
西 川 勝 則
議員



西海市国土強靱化地域計画について

問 施策分野ごとの推進方針において、具体的にどのような取組みを計画しているかを伺う。

市長 大規模な災害発生に対して、迅速かつ、的確な防災訓練を実施するため、関係機関の連携強化を図るとともに、防災技術の錬磨を図る取組みを始めている。庁舎、施設等の耐震・堅牢化については、大島総合支所を新築した。耐震診断が必要な一定規模以上の公用施設等については、耐震補強工事を実施している。また、行政機能の拠点となる本庁及び各総合支所においては、非常用発電機を整備している。そして災害時における職員の初動につきましては、西海市災害対策初動マニュアルを作成しております。今後は、防衛省の民生安定助成事業を活用した、防災のまちづくり基本構想を今年策定し、将来的には、資機材の整備拡充はもとより、拠点となる施設整備を図っていく。

ICT教育について

問 GIGAスクール構想におけるタブレット端末の現在の状況と今後の活用計画について伺う。

教育長 具体的には、6月までに動作確認を行い、7月を目途に、家庭への持ち帰りを開始し、家庭学習等での活用を予定している。教員のICT活用指導力の向上及び指導体制の充実、大きな課題の一つであるため、改善に取り組む。



GIGA スクール構想

教職員の働き方改革について

問 教職員の業務改善について、現状と取組みについて伺う。

教育長 業務量の適切な管理等に関する規則を定め取り組んでいる。具体的には、ICカードによる客観的な勤務時間の把握や毎週1回以上の定時退校日の設定、週2回以上の部活動休養日を実施しながら、時間外勤務の削減を行っている。



すぎやま せいじ
杉山 誠治 議員



点字ディスプレイの給付対象条件の緩和について

問 西海市障がい者等日常生活用具給付事業の実施要綱別表第1では、日常生活用具のうち、「意思疎通支援用具」の「点字ディスプレイ」の給付対象者について、「視覚障害及び聴覚障害の重度重複障害（原則として視覚障害2級以上かつ聴覚障害2級）の障害者であつて、必要と認められる者」と規定している。

自治体によっては、視覚障害が2級以上であれば給付対象となるところもあり、本市においても、そのように給付対象条件を緩和することが出来ないか伺う。

市長 点字ディスプレイは、点字や音声で入力した文字や取り込んだデータを、機器上の点字に出力できる機能が有り、パソコンと接続することで、機器内の文字データを音声で読み上げることが出来る他、電子メールの送受信もできる。持ち運びが簡単で、メモ機能、カレンダー機能もある。

制度については、日常生活用具の



点字ディスプレイ

給付は「地域生活支援事業補助金」の対象事業となっており、補助率が国1/2、県1/4で市の負担は1/4となっている。給付対象者は、視覚障害者2級以上かつ聴覚障害者2級の重複障害者となっており、自己負担額は、購入額の1割負担で市民税所得割の額に同じ上限額が定まっている。しかし、価格が約30万円と高額なため、制度から漏れる方の購入には、大きな負担となっている。

市内対象者は、現在視覚障害者2級以上が99名、聴覚障害者2級が37名で現行制度の対象となる重複者は、1名のみで殆どの方が制度の対象外となっている。以上のことから、音声出力機能を有効に活用するには、視覚障害2級以上のみの方に適しているものと考えられるので、給付対象状況の緩和は、実施したい。



西海市リサイクルセンター（大島町）



ひろせ よしお
戸浦 善彦 議員



市民サービスの向上策について

問 西海市リサイクルセンターは、ごみの持込み受付を平日午前9時から午後4時までとしている。ただ、土日の受付を望む声が多く、今回の選挙戦の間、聞こえてきました。特に、平日に仕事している方たちが何とかごみを持ち込むことができるよう、土日にも一定の受付時間を確保出来ないか、市長の考えを伺う。

市長 職員の勤務体制などを考慮しながら、市民のご要望に沿えるように、前向きに検討する。

市民環境部長

10月を目途として実施できるよう調整を図って、来年3月までの半年間試行した上で、月1回又は、2回でよいのか、判断して、できる限り市民のニーズにこたえられるよう、その結果を今後のリサイクルセンターの運営に反映をしていきたいと考えている。



西海市の文化財保護に係る補助制度の整備について

問 現状の西海市文化財保護条例では、補助制度は創設されていない。早急に整備すべきと思うが、教育長の考えを伺う。

教育長 補助制度が整備されていないため、6月24日開催の定例教育委員会に、西海市文化財保護事業補助金交付要綱の制定のための議案を提案する予定である。





左から浅田直幸議員、佐嘉田敏雄議員、平野直幸議員、田川正毅議員

【特別表彰】
議員20年以上 佐嘉田 敏雄 議員
【一般表彰】
正副議長4年以上 平野 直幸 議員
議員15年以上 浅田 直幸 議員
議員15年以上 田川 正毅 議員

第97回全国市議会議長会定期総会において、本市議会より特別表彰として、市議会議員在職20年以上で佐嘉田敏雄議員が、また、一般表彰として、正副議長在職4年以上で平野直幸議員、市議会議員在職15年以上で浅田直幸議員並びに田川正毅議員が、それぞれ表彰され、その表彰状伝達式が6月23日の本会議終了後に行われました。

全国市議会議長会 表彰状伝達式

令和2年度 政務活動費収支実績一覧

単位：円

「西海市議会政務活動費の交付に関する条例」に基づき、当該会派の所属議員数に月額15,000円を乗じた額を1か月分として、会派に対し毎年交付しています。

会派名	①西海市議会 日本共産党	②創生会	③自民党員 の会	④保守無所属 の会	⑤国民民主 西海	⑥志政会	⑦令政会 (令和2年12月解散)
収 入							
政務活動費交付金	180,000	1,080,000	360,000	360,000	180,000	540,000	330,000
その他	0	0	0	0	0	0	0
計	180,000	1,080,000	360,000	360,000	180,000	540,000	330,000
支 出							
調査研究費	2,254	0	0	0	0	0	0
研修費	0	0	0	0	0	0	0
広報費	81,142	0	0	0	75,313	0	0
広聴費	6,490	0	0	0	0	0	0
要請・陳情活動費	0	0	0	0	0	0	0
会議費	0	0	0	0	3,000	0	0
資料作成費	0	0	0	0	0	0	0
資料購入費	0	0	0	0	0	0	0
人件費	0	0	0	0	0	0	0
事務所費	0	0	0	0	0	0	0
計	89,886	0	0	0	78,313	0	0
政務活動費返還額	90,114	1,080,000	360,000	360,000	101,687	540,000	330,000

市議会からのお知らせ

西海市のホームページから、西海市議会に関する各種情報を公開しています。定例会の日程や結果、会議録検索など最新の情報をご覧いただけます。

●議会中継をインターネットにより動画配信しています。

西海市議会ではインターネットによる本会議の動画配信（ライブ及び録画）をしています。市のホームページから、または、<https://saikai-city.stream.jfit.co.jp/>へアクセスしていただくと、一般質問などの映像をご覧いただけます。ライブ配信は議会開催中に、録画配信は会議終了後2～3週間程度でご覧いただけます。

●議会会議録をインターネットで公表しています。

西海市議会ではインターネットで本会議の会議録を公表しています。市のホームページから、または、<http://ssp.kaigiroku.net/tenant/saikai/SpTop.html>へアクセスしていただくと、平成17年以降に開催された定例会議会・臨時市議会の会議録を、キーワード、発言者、会議日程などにより検索して、閲覧することができます。

●西海市議会の本会議を傍聴できます。

西海市議会の本会議は公開されており、どなたでも自由に傍聴できます。

- 1：場所本会議場（西海市役所本庁舎3階）
- 2：人数60人まで（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、傍聴人を制限する可能性があります。）
- 3：受付場所：本会議場前傍聴受付
 - ・受付の際、所定の用紙に住所、氏名等を記載していただきます。
 - ・会議開始前から受付を開始し、会議中も随時受け付けます。



長崎県立大崎高等学校

3年 福永 彩佳

シャッターや更地が並ぶ通りを眺めながら、昔はこの辺りがどれほどの人で賑わっていたのかと思いを馳せることがあります。

現在私が住んでいる地区には、炭鉱時代に島一番の商店街であった間瀬商店街があります。当時は、洋服屋さんや駄菓子屋さん、また本屋さんなどたくさんのお店が立ち並び、間瀬商店街に行けば生活必需品がすべて揃うほど賑わっていたそうです。

そんな商店街も今は店舗が減り、駐車場エリアが目立ってきています。もちろん、今も続いている店もありますが、やはり店舗が減

った寂しさは隠しきれません。幼少期にスパーボールのくじ引きによく行った衣料店や、挨拶すると「愛想がいね」とほめてくれたスナックは、今は更地になっています。また、小学生の時に記憶している商店街の入口のアーチも、気がつけば無くなっていました。私は、商店街の現状を見る度に、昔はどれだけ活気あふれた場所だったのかと思いを馳せてしまいます。その頃に生まれていれば、商店街をどんな風に楽しんでいたのだろうと思うこともあります。しかし、それは実現できません。

人口減少や少子高齢化が進んでいる現在、昔のような商店街を復活させることは難しいと考えます。だから私は、せめて今残っている店舗を大切に、今後もあり続けてほしいと願っています。そのためにもまずは、地元にも多く若者を増やすことが必要だと考えます。若者を増やすこと

が地方創生につながるのではないのでしょうか。

私は高校卒業後、大学に進学します。そこで、現在の間瀬商店街のような地域が抱える課題の研究やその解決のノウハウを身に付けるつもりです。そして、地元で地域活性化に貢献できる立場になり、商店街に新しいアーチを掲げたいと考えています。

郵便はがき

857-2392

郵送される
場合は63円
切手を貼って
下さい。

長崎県西海市大瀬戸町瀬戸檜浦郷2222番地

西海市役所 議会事務局
「議会広報広聴委員会」行

(議会だより第62号)



裏表紙に
西海市議会クイズが
あるよ！議会だよりを
よく読んで解答してね！

第18回 西海市議会 クイズ

ヒント

答えは全て本誌の中にあります。誌面をよく読んでお答えください。

(1) 新たに設置された特別委員会は何？

① 医療対策特別委員会

② 基地対策特別委員会

③ 議会広報広聴特別委員会

(2) 表紙の写真の場所は？

① 大瀬戸町

② 西海町

③ 崎戸町

(3) 令和3年度西海市一般会計補正予算(第2号)の議案番号は？

① 27号

② 29号

③ 30号

(4) 本年4月18日の選挙で当選した議員数は。

① 26人

② 20人

③ 18人

応募方法

はがき、FAX、メールにて、住所・氏名・年齢・クイズの答えを明記してご応募ください。

お近くの総合支所又は市役所本庁議会事務局へのご提出も可能です。

応募先

〒857-2392

長崎県西海市大瀬戸町瀬

戸瀬浦郷2222番地

FAX

0959-37-0226まで

メール

gikai@city.saikai.lg.jp

締切

令和3年9月10日(金)

消印有効(10日支所提出

分まで有効)

特典

全問正解者の中から抽選で3名の方に、**QUOカード(1000円分)**をプレゼントいたします。なお、当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。

※落選通知は送付しませんので、ご了承ください。

〔個人情報取り扱いについて〕ご記入いただきました個人情報(商品発送などの目的以外には利用いたしません)。



応募総数19名(正解者11名)

編集後記

議会だより62号をお読みいただきありがとうございます。今月定例会の一般質問では、12名の議員が施策に対して論議が活発に行われました。現在、本会議のインターネット中継を実施していますが、今号の議会だよりでは、各議員の一般質問記事にQRコードを掲載しており、スマートフォンで読み取っていただくと、各議員の一般質問の録画映像をご覧いただけるようになりますので、是非ご利用ください。

また、各議員の重点目標(抱負)を掲載しております。今後皆様にご愛読いただけるよう努力してまいります。ご協力いただきました皆さんありがとうございます。次の議会だよりは11月発行予定です。お楽しみに。(荒木委員長)



議会広報広聴委員会

第18回西海市議会クイズ回答

(1)	(2)	(3)	(4)
-----	-----	-----	-----

郵便番号 〒

住所 市 町 郷 番地

氏名

年齢 歳

議会だよりについての感想またはご意見

今後いただいた感想、ご意見は匿名で掲載させていただく場合があります。



議会
だより

No.62

令和3年
8月5日発行

発行責任者◎西海市議会議長
編集◎議会広報広聴委員会

〒857-2392 長崎県西海市大瀬戸町瀬戸浦郷2222
TEL.0959-37-0075



この「西海市議会だより」は環境に配慮し再生紙と、揮発性有機化学物(VOC)の発生を低減できる植物油インキを使用しています。